



中高校生と赤ちゃんのふれあい体験 について

～命の大切さを学ぶ～

松戸市では、中高生が命の大切さを学び、将来親になるための準備として、「中高校生と赤ちゃんのふれあい体験」を実施しています。今年度は市内高校 4 校（松戸向陽高校、市立松戸高校、松戸南高校、松戸六実高校）、中学校 2 校（根木内中学校、旭町中学校）で実施の予定です。

中高生が赤ちゃんとふれあいながら、父母から子育ての楽しさ、大変さを聞くことで、命の尊さを知り、自分自身を大切に持つとともに、参加する親子にとっては、わが子がさまざまな人とふれあうことで、他者に大切にされていると感じ、自分の子どもへの愛情を深めることへつながることを目的としています。

6 月に実施を予定している千葉県立松戸向陽高等学校では、平成 23 年より事業を開始し、延べ 1524 名の生徒が参加しています。

記

- 1 日 程 6 月 5 日（月）～9 日（金）、12 日（月）、13 日（火）
10 時 5 分～10 時 55 分（受付 9 時 45 分より）
1 日 1 クラス 計 7 クラス実施（2 年生 267 名）
- 2 場 所 千葉県立松戸向陽高等学校 1 階 介護実習室
〒270-2223 松戸市秋山 682
- 3 内 容 抱っこやふれあい遊びをして高校生が赤ちゃんとはふれあいます。また、保護者から妊娠中の様子、子育ての楽しさや苦労などの話を伺います。
※各グループには保育スタッフが入ってサポートします。
- 4 対 象 生後 5 ヶ月～1 歳 6 ヶ月未満の赤ちゃんとは保護者



- 5 授業 6月19日(月)13時40分～14時50分
(千葉県立松戸向陽高等学校体育館)
「生命を育む生と性」
川島 広江 氏
(助産師、千葉大学、聖路加看護大学大学院等講師)

6 昨年の様子



【問い合わせ先】

子ども部子どもわかもの課

☎047-366-7464